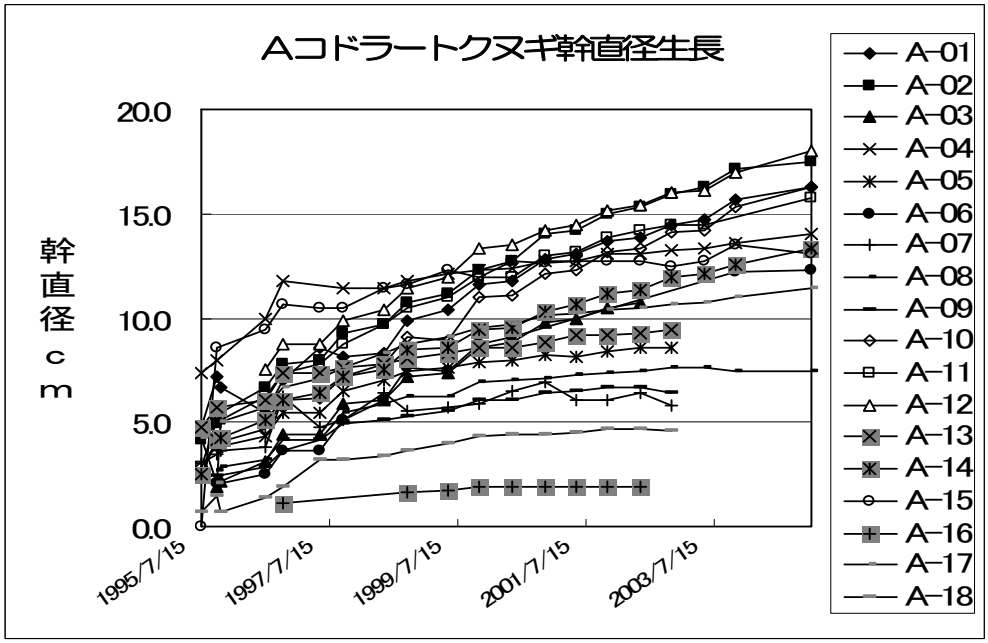
資料 5-1

クヌギ生長調査

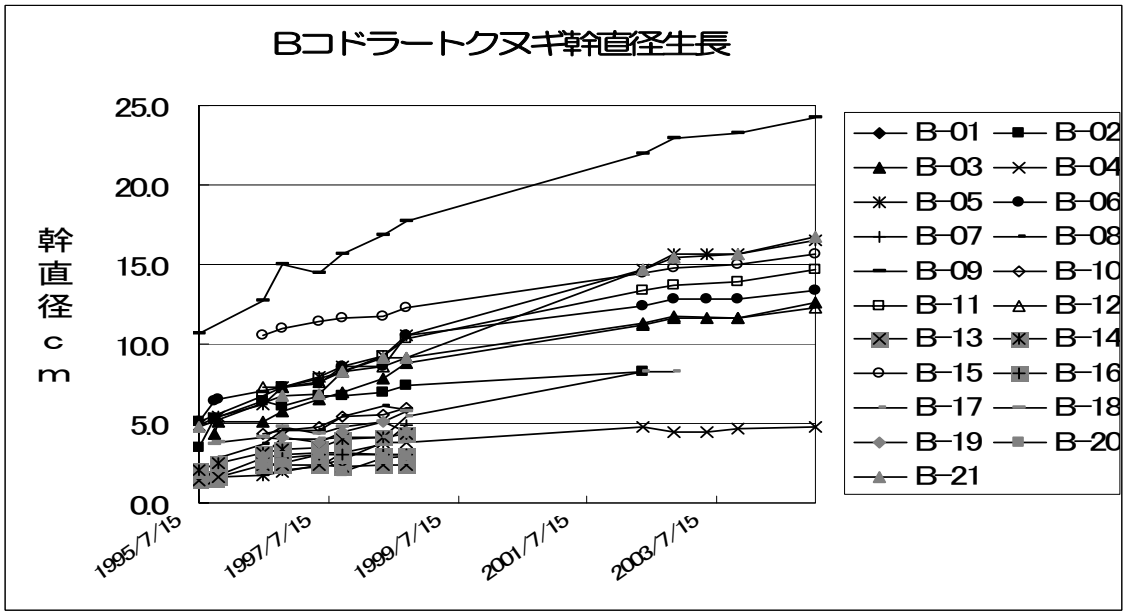
会発足当初の 95 年よりカブトムシの森の中に隣接するふたつのコドラート（10m×10m）内のクヌギ生長調査と林床の植生調査を実施した。この調査は草刈りの有無が①クヌギの生長差に影響を与えるか②林床に出現する植物種と種数に影響をするか、を検証する目的で始まった。コドラート A は草刈りをする、コドラートBは草刈りをしない区画である。

2001 年の勉強会で調査面積が狭いため草刈りの有無がクヌギの生長には大きな影響がないとおもわれる、クヌギは遺伝子の違いによる生長力や環境適応力が大きい木本である、という指摘があった。林床も草刈りの有無で出現種に著しい違いもみられなかったため、両コドラートとも同様に草刈りをすることになり、林床植生調査は中止した。現在はクヌギ生長の記録のみ継続している。若干の測定誤差がみられるが，個体による生長の差異がよくわかる。02 年より間伐開始。下の折れ線グラフが途中で途切れているものは間伐を実施した個体。歴代世話役は園田、阪下。



A コドラート
造成時
立木本数
18 本
05 年 1 月現在
10 本

B コドラート
造成時
立木本数
21 本
05 年 1 月現在
9 本



資料5-2　カブトムシの森林床植生調査の記録

カブトムシの森間伐を目前に控えた02年。森会ならば間伐前の何かを記録しなければ、と話題にあがるようになりました。以前のWSで「四季様々な草花の 咲くカブ森」という夢が語られていたことから草本調査をして管理に反映することになりました。１年間の調査集大成の勉強会ではカブ森は日陰に生育する植物が多く、お花畑のような景観は草刈りなどの管理では得にくい場所ということがわかりました。また高木になる樹種の芽生えが少なくそれは過去スギ林で あったことが一因であるとの指摘をうけました。ある場所に成立する森林は立地や履歴などさまざまな要素によることを実感しました。また「保全には量をはかることが大切でその物差しのひとつが被度※」という話から森を多様な視点から見る必要も感じた調査と勉強会となりました。

表1 「カブトムシの森」の林床植物（小区画1-4）表の作成　須田隆一氏

No.	種名	調査時期				科	生育形	利用	備考
		2002.7	2002.10	2003.4	2003.5				
1	フユイチゴ	3	3 ★	4	4	バラ科	常緑低木	果実(食)	
2	チヂミザサ	4	3 ★	3	3	イネ科	多年草		
3	イノコズチ	3 (☆)	3 ★	2	3	ヒユ科	多年草		
4	ダイコンソウ	2 ☆	2 ☆	3	3 (☆)	バラ科	多年草		
5	カキドオシ	2	2	3	3	シソ科	多年草	薬草	
6	ナキリスゲ	2	2 ★	2 ★	2	カヤツリグサ科	多年草		
7	ネザサ	1	2	1	1	イネ科	常緑低木		
8	シュウブンソウ	1	+	1	1	キク科	多年草		
9	タブノキ	1	1	+	+	クスノキ科	常緑高木		
10	イヌタデ	+	3 ☆	2	2	タデ科	1年草		
11	キヅタ	+	1	2	1	ウコギ科	常緑藤本		
12	オカウコギ	+	1	1	2	ウコギ科	夏緑低木		
13	ミズヒキ	+ (☆)	1 ★	1	1	タデ科	多年草		
14	ゼンマイ	+	1	1	1	シダ植物	多年草	山菜	
15	コバノボタンヅル	+	1 (★)	1	+	キンポウゲ科	多年草･蔓性		
16	サルトリイバラ	+	1	+	1	ユリ科	夏緑藤本	餅の葉，薬草	
17	ツユクサ	+ ☆	1 ★	+	+	ツユクサ科	1年草		
18	ベニシダ	+	1	+	+	シダ植物	常緑多年草		
19	ツボスミレ	+ ★	+	1 ☆	1 ★	スミレ科	多年草		
20	ヘビイチゴ	+ (★)	+	1 ☆	1 ★	バラ科	多年草		
21	ミツバアケビ	+	+	1	1	アケビ科	夏緑藤本	果実(食)	
22	ナガバタチツボスミレ	+	+	+ ★	+ ★	スミレ科	多年草		
23	ヘクソカズラ	+	+ (★)	+	+	アカネ科	夏緑藤本		
24	クヌギ	+	+	+	+	ブナ科	夏緑高木		
25	ミゾシダ	+	+	+	+	シダ植物	多年草		
26	ササガヤ	2	2 ☆		2	イネ科	多年草		
27	キクムグラ	+		2 ☆	2 ☆	アカネ科	多年草		
28	タラノキ	+	+	+		ウコギ科	夏緑高木	山菜	
29	ヤマハッカ	+	+	+		シソ科	多年草		
30	ヤマノイモ	+	+		+	ヤマノイモ科	多年草	山菜，薬草	
31	ノブドウ	+	+		+	ブドウ科	夏緑藤本		
32	クサイチゴ		1	1 (☆)	1 (★)	バラ科	夏緑低木	果実(食)	
33	ムラサキケマン		+	2 ☆	1 ☆	ケシ科	越年草		
34	キツネノマゴ	+	1 ☆			キツネノマゴ科	1年草		
25	ヤブコウジ	+ (☆)	+ (★)			ヤブコウジ科	常緑低木		
36	ノササゲ	+	+			マメ科	多年草		
37	ハゼノキ	+	+			ウルシ科	夏緑高木		
38	ツルニガクサ	+ ★			1	シソ科	多年草		
39	ヤブガラシ	+			+	ブドウ科	多年草･蔓性		
40	ミゾイチゴツナギ			2 ☆	1 ☆	イネ科	1-越年草		
41	アオスゲ			2 ☆	1	カヤツリグサ科	多年草		
42	カモジグサ			1	3 ☆	イネ科	多年草		
43	ウシハコベ			1	1 ☆	ナデシコ科	越-多年草		
44	スイカズラ			1	1	スイカズラ科	半常緑藤本	薬草	
45	イノデ			1	1	シダ植物	常緑多年草		
46	コモチマンネングサ			1 ☆	1 ★	ベンケイソウ科	越年草		
47	ミドリハコベ			1 ☆	+ ☆	ナデシコ科	越年草		
48	ヤエムグラ			+ ☆	+ ★	アカネ科	1-越年草		
49	オランダミミナグサ			+ ☆	+ ★	ナデシコ科	越年草		外来種
50	タチイヌノフグリ			+ ☆	+ ★	ゴマノハグサ科	1-越年草		外来種
51	オニタビラコ			+	+ ☆	キク科	越年草		
52	トウバナ			+	+ ☆	シソ科	多年草		
53	アオツヅラフジ			+	+	ツヅラフジ科	夏緑藤本		
54	ヤブソテツ			+	+	シダ植物	常緑多年草		
55	キカラスウリ	+				ウリ科	多年草･蔓性		
56	ススキ	+				イネ科	多年草	秋の七草	
57	テリミノイヌホオズキ		1 ☆			ナス科	1年草		
58	メナモミ		1 ☆			キク科	1年草		
59	アカメガシワ		+			トウダイグサ科	夏緑高木		
60	マムシグサ	(★)	(★)	+	(★)	サトイモ科	多年草		
61	ヒメジョオン	(☆)		+	(☆)	キク科	1年草		外来種
62	コタネツケバナ			+ ☆		アブラナ科	1-越年草		外来種
63	ナガバモミジイチゴ			+		バラ科	夏緑低木	果実(食)	
64	シハイスミレ			(★)	+	スミレ科	多年草		
65	コナスビ				+ ☆	サクラソウ科	多年草		
66	イグサ				+ ☆	イグサ科	多年草		
67	エゴノキ				+	エゴノキ科	夏緑高木		
68	オオアレチノギク				+	キク科	1年草		外来種
69	フジ				+	マメ科	夏緑藤本		
70	セイタカアワダチソウ				+	キク科	多年草		外来種
	出現種数	39	39	49	55				

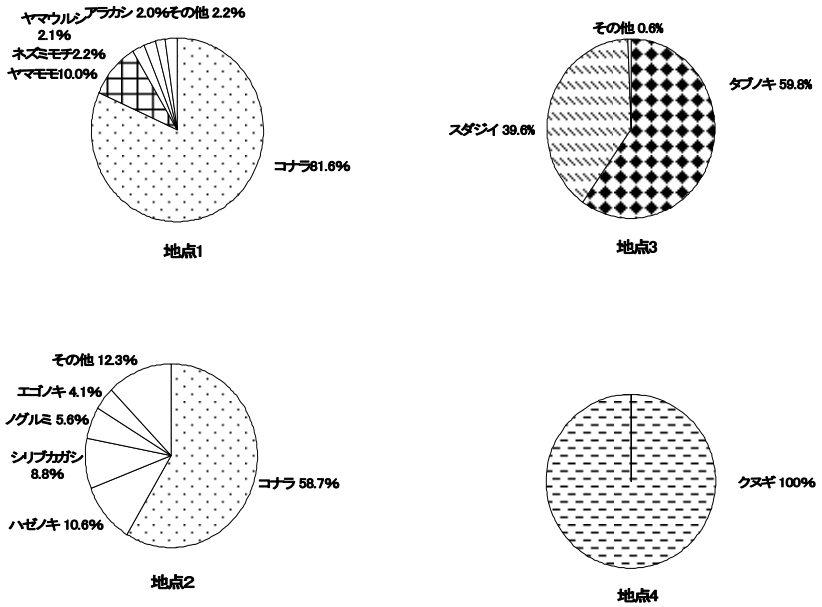
1)未同定の一部の種を除く。
※　2)数字は植物社会学的調査法に基づく被度の階級値で，4小区画における最大値を抽出。
3)☆は開花，★は結実を示す。(　)は，小区画では見られなかったが，50m×50m区画で確認されたもの。

《調査方法》
1．小区画（草本層）植生調査：カブトムシの森の中、クヌギ生長調査を行っているコドラートAの中に連続した小区画を設定し各区画毎に出現した種と被度を記録（表1）
2．調査区（コドラート）林床植生調査：10×10m区画の中で花・果実をつけている植物を記録
3．調査区周辺林床植生調査：コドラートAの周辺50×50mで花・果実をつけている植物を記録

資料５-３

油山の二次林調査

会の勉強会講師須田隆一氏からご自身の研究課題「市民による植生調査」に協力依頼があり 05 年 10 月カブ森川向こうの照葉樹二次林調査※を会で実施した。同じ調査を油山の数箇所で行えばカブ森の保全目標のキーワード「油山の二次林」概要が把握できると考え氏の協力を得て他に２箇所で実施し、データ整理の指導を受けた。この結果は里山勉強会（06/1/8 実施）で解説を受けカブ森保全目標づくり WS（０６/9/23 実施）の資料ともなった。この調査は保全後の評価、油山の他の場所との比較にも展開できると考えられる。



油山の二次林４地点における出現種の胸高面積割合（毎木調査）

※調査項目概要：
①概況調査　②毎木調査
③林床植生調査
②では樹高は計測せず、①のなかで目測するなど簡易的な調査項目となっている。
調査面積：10m×10m

（1）調査地とその選定理由

・地点 1 花畑、地点 2 柏原：落葉樹の多い森であるため、クヌギ（落葉樹）中心のカブ森目標検討素材として適切と考えた。「福岡市の植生」昭和５８年参照。

・地点３カブ森隣接地：カブ森に昭和３０年以後現在まで人手が加わらなかったときの姿として選択した。また活動地に近く補完調査が行いやすい。

（2）調査結果を整理して

◆毎木調査より：各地点における出現種の胸高断面積割合

地点 1、地点 2 では落葉樹を中心として多くの種が２%以上の胸高断面積割合を占めていた。地点３ではタブノキ・スダジイがほとんどを占めていた。地点４カブ森（生長調査コドラート内）ではクヌギがすべて。

◆林床植生調査より：林床植生調査４地点の調査結果

・また林床植生調査結果をもとに各地点間の群落類似度指数（似ている度合いを表す指数で、０～１００%の値をとる）を算出した。各地点間の類似度指数は概して低く、最大で３０%（地点１と２）であった。地点４カブ森と他地点間の類似度指数はかなり低く、林床植生は似ていなかった。

【報告詳細は会報 06/3/11 号】

資料 5-4

アカマツ林植物社会学的調査

林床ばかり見てすごした草本勉強会の最終回、森林全体を把握する方法として植物社会学的調査という調査法の実習を行いました。慣れた場所ですが調査により今まで気がつかなかった多くの種を記録しました。「アカマツ林らしさ」を実感した機会でした。

植 生 調 査 票

2003年10月12日　調査者　森を育てる会

Ｎｏ.　　調査地：油山アカマツ林　（福岡市南区桧原）

3次メッシュコード：5030-2310
1:2.5万地形図：福岡南部 南西

(地形)	山頂・尾根・斜面（上・中・下・凸・凹）・台地・扇状地・平地・谷	(風当)	強 ・ 中 ・ 弱	(標高)	275 m
(群系)	高・低・植林：草・湿原：海（岸・浜・中）：河（岸・中）：池	(日当)	陽 ・ 中陰 ・ 陰	(方位)	S80E
	（岸・中）：路・水田・畑・堤：砂・岩・樹上	(土湿)	乾・適・湿・過湿	(傾斜)	25°
(土壌)	ポド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・擬グライ・沼沢	(母岩)		(面積)	10×10 m
	沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面下・その他（　　）	(露岩)	%	(出現種数)	65

階層	高さ(m)	植被率(%)	優占種	胸径(cm)	種数
Ⅰ 高木層	17 ～	65	アカマツ	37	1
Ⅱ 亜高木層	11 ～	40	―	17	3
Ⅲ 低木層	5 ～	70	ムクノキ		30
	～				
Ⅳ 草本層	0.9 ～	75	ウラジロ		48
Ⅴ コケ層	～				

(備考)
K＝芽生え　fr＝果実
fl＝花
D＝被度　調査面積内で対象種が占める割合
S＝群度　調査区内での対象種の集合の程度

	D·S	V	Ⅰ	D·S	V	Ⅲ	D·S	V	Ⅳ	D·S	V	Ⅳ
1	4·4	fr	アカマツ	2·3		ムクノキ	4·4		ウラジロ	+		ツタ
2				2·3		ヤマウルシ	1·2		コシダ	+		ツルウメモドキ
3				1·2		ハゼノキ	1·2		ヒサカキ	+		ツルリンドウ
4				1·2	fr	ヤブムラサキ	+·2		ススキ	+		ナガバモミジイチゴ
5				1·1		ヤマモモ	+·2	fr	チヂミザサ	+	fl	ナキリスゲ
6				1·1		リョウブ	+·2		フユイチゴ	+		ネジキ
7				+		アオツヅラフジ	+·2		ヤブコウジ	+		ノブドウ
8				+	fr	イヌザンショウ	+·2		ヤブムラサキ	+		ヒメユズリハ
9				+		イヌビワ	+		アカメガシワ K	+	fl	ヒヨドリバナ
10			Ⅱ	+		エゴノキ	+		アラカシ	+		ビロードイチゴ
11	2·2		ユズリハ	+		カエデドコロ	+		イタドリ	+		ヘクソカズラ
12	2·1		タブノキ	+		クスノキ	+		イヌザンショウ	+		ミツバアケビ
13	1·1		クスノキ	+		クリ	+		イヌツゲ	+		ミヤマウグイスカグラ
14				+		クロガネモチ	+		イヌビワ	+		ヤマウルシ
15				+		コシアブラ	+		エノキ K	+		ヤマツツジ
16				+		サルトリイバラ	+		キガンピ	+		ヤマノイモ
17				+		タムシバ	+		クサイチゴ	+		ユズリハ
18				+		タラノキ	+		クサギ K	+		リョウブ
19				+		ツタ	+		クロキ			
20				+		ヌルデ	+		コガクウツギ			
21				+		ネジキ	+		コシアブラ			
22				+		ネズミモチ	+	fr	ササクサ			
23				+		ノイバラ	+		サルトリイバラ			
24				+		ハマセンダン	+		シャシャンボ			
25				+		ヒサカキ	+		シュンラン			
26				+		ビロードイチゴ	+		スダジイ			
27				+		ヘクソカズラ	+	fl	センブリ			
28				+		ホオノキ	+		ソヨゴ			
29				+		ミツバアケビ	+		タブノキ			
30				+		ヤマノイモ	+		ツクシハギ			

資料 6　森を育てる会と道具の歴史

99 年ころ「イノシシ貯金」と名づけたカンパの缶から 200 円のノコを 10 本購入したのが森会道具「事始め」。大きな転機は 00 年度、日本財団「はじめの一歩」及び（財）福岡市森と緑のまちづくり協会「地域の森づくり事業」の 2 助成をうけたことです。ここで年間に使う主な道具をそろえることができました。両法人には厚く感謝申し上げます。
06 年度現在、備品全体の管理体制、道具置き場が整いしました。なお、道具置き場として 00 年以降油山自然観察の森の地下倉庫を使用させていただいています。

森を育てる会道具一覧　　07 年 3 月現在

区分	名称	総数	区分	名称	総数
切	さやつき小ノコ	10	掃	レーキ	4
切	高枝用枝打ちノコ	2	掃	金属落ち葉かき	2
切	竹ひきノコ	5	登	脚立	1
切	竹ひきノコ替え刃	5	測	メジャー（100m×1　50m×2）	3
切	中ノコ	2	測	測量棒	6
切	鎌（小）	10	測	ポケットコンパス	1
切	中厚鎌	1	測	三脚	1
切	ノコ鎌	10	運	バケツ	2
切	さやつきなた	3	運	バック	3
切	薪割り用斧	1	運	背負いかご	2
切	さやつき剪定バサミ	10	運	しょうけ	2
切	高枝バサミ	2	運	工具箱	1
切	刈り込みバサミ	1	運	道具箱	3
切	根切りバサミ	2	掘	バール	1
切	鎌砥石	3	掘	スコップ	5
切	棒型砥石	2	掘	唐鍬	1
切	ダイヤ目立てやすり	1	護	ベルト	13
切	道具油	1	護	ヘルメット	25
切	ななめニッパー	1	護	腕章	30
切	ペンチ	1	結	かすがい	2
切	強力ニッパ	1	結	クレモナロープ(9mm×40m)	1
打	プラスチックハンマー	2	結	滑車	2
打	かなづち（くぎ抜き兼）	1	電	電気ドリル(インパクトドライバー)	1
打	スチールハンマー	1	電	ライトトラップ一式	1
打	かけや	2	電	しいたけコマうちドリル先	3
打	木づち	3	電	防雨型リール（延長コード）	1
覆	ブルーシート（大）	1	電	電気ドリル	1
覆	ブルーシート（小）	1	電	ディスクグラインダー	1
覆	コンパネ	3	火	鉄板	1
覆	寒冷紗 1.8m×6m	1	P	デジタルカメラ	2
掃	竹笹ぼうき	2	冷	クーラーボックス	1
掃	竹熊手ぼうき（大）	8	工	筆、絵の具多、肥後の守 3	1 式
掃	松葉ぼうき(大)	4		施設からの借用他、リスト外品	
掃	松葉ぼうき(小)	2			

資料7

森を育てる会活動年表

年度	月	日	活動内容（「:」は会以外の主催）	人数
1995	6	4	センター主催で「**カブトムシを育てる会**」**始動** 会員を募集し、活動計画の説明・現地見学会	48
		25	第1回活動日 カブ森／草刈・カブトムシ飼育小屋整備	10
			第1号「みんなでつくる 森ものがたり」発行	—
	7	15	活動の狙い説明後、クヌギ生長調べ・夜間カブトムシ観察	36
	9	9	カブ森／草刈	6
	10	29	クヌギ生長調査・ドングリ苗床作り・ドングリ遊び	31
	11	25	カブ森／生育床整備・バーベキュー	10
	12	9	カブ森／クヌギの生長調査・飼育床整備	
	1	14	カブトムシの幼虫成育準備・焼き芋	11
		27	冬の森観察会	
	3	23	よもぎ団子作り	
1996	5	25	カブ森／飼育小屋整備・林床植生調査（草刈した所としてない所の比較）	
	6	2	「**森を育てる会**」に改名 森を育てる会セミナー（チョウのレクチャー・野外観察）	21
		22	カブ森／草刈・草木染	
	7	13	カブ森／草刈・夜の観察会	
	8	24	カブ森／草刈・昆虫採取（九大紙谷先生の同定結果32種）	
	9	1	森を育てる会セミナー／森林基礎知識のレクチャー・野外観察	29
		28	カブ森／林床植生調査（同定39種・未確認10種）・昆虫調査	
	10	26	カブ森／クヌギ生長調査・バーベキュー	
	11	9	カブ森／ドングリ拾い・蒔き床整備・どんぐり蒔き	
	12	1	森を育てる会セミナー／動物のレクチャー・野外観察	19
		14	カブ森／堆肥床整備・落葉焚き	
	1	25	カブ森／池準備	—
	2	16	森を育てる会セミナー／講師による「市民参加の里山管理」の話し	18
		22	カブ森／池作り	—
	3	22	よもぎ団子作り	—
1997	5	10	うん・えー会／**会員による自主的な活動も開始**	8
		18	カブ森／四葉のクローバー池の水温・水深・ph・生物調査	3+
		24	カブ森／A・Bコドラートの生物調査	8
		31	カブ森／四葉のクローバー池の水質調査・池の様子や生物観察	1
	6	1	カブ森／A・Bコドラート植物調査・下草刈り準備（クヌギ幼木に目印）	2
		8	アカマツ林管理について／アカマツ林保全の為の話し・現地調査（視察）芸工大の重松先生講師	5+
		14	草木染め	5
		14	カブ森／生きもの調査（特に蝶）	3
		15	草木染め	13
		15	カブ森／A地区下草刈り	
	7	5	カブ森／A地区下草刈り	13
		12	うん・えー会／**「森ものがたり」発送開始**	6
		13	カブ森／下草刈り	1
		19	カブ森／A地区の下草刈り	7
		19	カブ森／夜の観察会	13
		26	カブ森／A・B地区下草刈り	7
	8	23	カブ森／A・B地区下草刈り	15
		30	カブ森／C地区下草刈り	2

年度	月	日	活動内容	人数
1997	9	13	うん・えー会／**アカマツ林保全プロジェクト開始**	9
		23	能古島見学	16
		27	カブ森／クヌギ生長調査・植物調査・蝶センサス開始	10
	10	19	活動説明会・現地説明会	12
		25	カブ森／ドングリひろい・ドングリまき・蝶センサス	23
		29	カブ森／池のヤゴを採集し標本として保存 福岡高等学園の澤田先生同定講師	1
	11	8	うん・えー会	10
		15	アカマツ林／植生調査（下草刈り準備の為）	9
		22	バーベキュー・森のおまつり準備	35
		23	「森のおまつり」活動紹介・バームクーヘン作り	18
		30	アカマツ林／伐採準備（伐採可能樹木に印しつけ）	6
	12	13	カブ森／堆肥作り・落ち葉炊き	16
		13	アカマツ林／B地区下草刈り（構造理解の為スケッチ・写真）	
	1	10	うん・えー会	7
		17	アカマツ林／B地区下草刈り	7
		24	カブ森／池の打ち合わせ	13
		24	新年会	—
		31	アカマツ林／B地区のアカマツ以外の樹木の除伐開始	8
	2	7,11,21	アカマツ林／B地区のアカマツ以外の樹木除伐	1,1,6
	3	1,7	アカマツ林／B地区アカマツ以外の樹木除伐	4,11
		14	うん・えー会／**世話役の役割確認**	7
		26	南市民センター「自然と人間をみつける講座」での活動紹介	2
		28	よもぎ団子作り・年度の振り返り	27
1998	4	11	カブ森／蝶センサス	10
		19	**会員による自主的な会運営に移行** 活動説明会／60名入会	16
		25	カブ森／蝶センサス（調査方法・現地説明）	9
	5	9	うん・えー会／活動内容（ボランティア性）について	31
		9	アカマツ林／ハイキング	45
		23	カブ森／クヌギ生長調査・A・Bコドラート植物調査・蝶センサス	19+
		31	カブ森／蝶センサス・下草刈り	11
	6	27	カブ森／A地区下草刈り	12+
		27	草木染め	
		27	アカマツ林／B地区シダ刈り	
	7	4	カブ森／A地区下草刈り	2+
		11	うん・えー会	17
		11	カブ森／夜の観察会	31
		18	カブ森／A地区下草刈り・実生木の目印にする竹切り	4
		25	話合い（雨天）	2
	8	1	カブ森／A地区下草刈り	2
		8	カブ森／A地区下草刈り	8
		8	アカマツ林／B地区下草刈り	4
		22,29	カブ森／B地区下草刈り	12,11
	9	5	カブ森／C地区下草刈り	
		12	うん・えー会	11
		26	カブ森／クヌギ生長調査	15
	10	3	カブ森／A・Bコドラート植物調査・蝶センサス	13
		3	アカマツ林／保全学習会（中村聡レンジャー講師）	
		17	「全国雑木林会議」出展用パネル作成（台風為アカマツ作業中止）	3
		18	活動説明会・10周年記念「森のおまつり」の話合い	8
		24	カブ森／B地区にカブ森のドングリを育てた実生木を30～40本移植・「森のおまつり」話合い	27

年度	月	日	活動内容	人数
1998	11	7	アカマツ林／A地区下草刈り	7
		14	うん・えー会／活動説明会のあり方検討	9
		21	アカマツ林／A地区下草刈り	7
		22	「森のおまつり」活動紹介・ドングリ遊び・バームクーヘン作り	—
		29	アカマツ林／A地区松葉かきと下草刈り・B地区松葉かき	3
	12	12	カブ森／堆肥床と堆肥作り・カブトムシの幼虫探し・落ち葉焚き	12
		19	アカマツ林／A地区のアカマツ以外の樹木除伐・松葉かき	4
	1	9	うん・えー会	6
		16	アカマツ林／B地区のアカマツ以外の樹木除伐	3
		23	アカマツ林／A地区松葉かき・シダ刈り	14
		23	新年会	—
		30	アカマツ林／A地区松葉かき・シダ刈り	7
	2	6	カブ森／クヌギ枝打ち	4
		20	アカマツ林／来年度の話合い	12
		27	カブ森／池作りの話合い	6
	3	13	うん・えー会	13
		20,27	よもぎ団子作り	5,9
1999	4	10	カブ森／夏キャンプ打ち合わせ・蝶センサス	7
		24	森の道具の使い方と手入れ方法 木工教室	15
	5	2	間伐材の整理	8
		4	うん・えー会／芋畑について・代表の役割や選出について	8
		22	カブ森／A・Bコドラート植物調査・蝶センサス・芋畑の土起こし	9
		29	カブ森／A地区下草刈り・芋畑の畝作り	5
	6	5	カブ森／池のしがら作り・芋畑の苗上	6
		12	カブ森／A地区下草刈り	17
		19	アカマツ林／A・B地区下草刈り・ビデオ鑑賞・カマ研ぎ実践	13
		26	草木染め（雨天）	8
	7	10	うん・えー会／**代表について検討**	16
		17	夏キャンプ予行練習／カレー作り	12
		24,25	夏キャンプ／下草刈り・カレー作り・夜の昆虫観察会 「ワークショップ」森会の全体像をつかもう！『シカシヤツイ』志賀壮史さん進行	29
		31	カブ森／C地区下草刈り	11
	8	8	カブ森／池の水路確保・A地区下草刈り	2
		14	カブ森／A地区下草刈り・蝶センサス・池の水路確保	5
		28	カブ森／枯枝落とし	26
	9	11	うん・えー会／子供プロジェクト	15
		25	カブ森／枯枝落とし	12
	10	2,3	山村塾合宿	11
		9	木工教室・「森のおまつり」準備	22
		16	「森のおまつり」準備	15
		23	「森のおまつり」準備	22
		23	カブ森／枯枝落とし	
		30	「森のおまつり」準備	17
		31	「森のおまつり」活動紹介・小物作り・バームクーヘン作り	—
	11	6	うん・えー会	7
		6	**アカマツ林に松枯れ発生！**	
		13	カブ森／クヌギ生長調査・A・Bコドラート植物調査・蝶センサス	12
		27	アカマツ林／A地区のアカマツ以外の樹木除伐	10
	12	11	アカマツ林／松材線虫侵入被害木の伐採前調査	25
		11	カブ森／堆肥床作り・落ち葉焚き	

森を育てる会活動年表

年度	月	日	活動内容（「:」は会以外の主催）	人数
1999	12	16	アカマツ林／松材線虫侵入被害木の伐採前調査	2
	1	8	うん・えー会／中村レンジャーが転勤され、東レンジャーが赴任 **森会の代表を選出**	18
		22	アカマツ林／調査内容検討・残材整理	16
	2	12	山芋掘り・不要材でのイノシシ鍋	26
		26	カブ森／不要な支柱撤去	9
			アカマツ林／間伐材整理	
	3	4	うん・えー会／**助成金**について	10
		25	よもぎ団子作り	14
2000	4	8	アカマツ林／間伐材整理	13
		15	ワークショップ「森のデザイン言いたい放題」クヌギ・コナラ林のイメージを共有しよう	11
		22	アカマツ林／堆肥床作り・実生保護区作り・ピザ釜試運転	25
	5	13	うん・えー会	12
		14	活動説明会／6名が入会	12
		20	KBCテレビで森会が紹介された	—
		27	カブ森／クヌギ生長調査・植物観察会（永松レンジャー講師）	11
	6	2-4	全国雑木林会議に参加	8
		11	カブ森／下草刈り・蝶センサス	12
			アカマツ林／実生調査コドラート設置・草刈	
		24	救急ミニ教室／ハチに刺された時の対応	15
			アカマツ林／実生調査・コドラート設置	
			カブ森／A地区下草刈り	
		28	NHKでテレビ生出演	2+
	7	1	うん・えー会／**自然観察の森運営協議会に委員として森会も参加**	9
		8	アカマツ林／A・B地区下草刈り	9
		13	自然観察の森運営協議会に参加	1
		23	カブ森／植物観察会（永松レンジャー講師）・下草刈り	11
		29,30	草刈キャンプ／ワークショップ「カブ森のデザインを考える」20年後の森の将来像と今できる事　志賀壮史さん進行・食事作り・夜の観察会・下草刈り	29
	8	12	カブ森／C地区下草刈り	6
		26	カブ森／A地区枯枝落とし・支柱外し・大掃除	7
	9	2	うん・えー会／「情報ボランティア」で森会が紹介された・カブ森樹木マップ作り準備編号外	10
		9	話合い（雨天）	8
		23	活動説明会／9名が入会	
		24	カブ森／枯枝落とし・間伐木選定	9
	10	—	日本財団より助成金交付	—
		7	木工教室（長住幼稚園保護者17名参加）・「森のおまつり」準備	15
		21,28	「森のおまつり」準備	12,23
		29	「森のおまつり」活動紹介・木工竹細工教室・バームクーヘン作り	—
			自然観察の森運営協議会に参加	1
		4,5	山村塾合宿	22
	11	11	うん・えー会／会費制へ移行検討	12
		18	アカマツ林／A地区拡張下草刈り	9
		25	カブ森／クヌギ生長調査・クヌギと常緑樹間伐・支柱撤去・ボランティアルーム大掃除	9
	12	2	アカマツ林／A・B地区実生調査・助成金での購入機器受入	7
		9	カブ森／カブトムシ幼虫調査・飼育小屋整備・落ち葉焚き	24
		16	アカマツ林／A地区常緑樹除伐	10
			カブ森／堆肥床作り	

年度	月	日	活動内容	人数
2000	1	8	うん・えー会／会計・監査の選出・まちづくり協会助成金交付・活動の振り返りアンケート実施・池作りプロジェクト終了	17
		13	アカマツ林／A地区拡張の為除伐	14
			カブ森／間伐材の玉切り	
		20	新年会	27
		27	カブ森／ハチの巣掘り・ミーティング（シイタケ栽培のほだ木確認・助成金・樹木マップ）	9
	2	10	道具置場整備（棚設置）・カブ森樹木マップWS	18
		24	話合い（雨天）	14
	3	3	うん・えー会	9
		10	勉強会「カブ森の森作りを考える」カブ森の再調査・保全管理の具体的方法　朝廣和夫先生講師	11
2001	4	24	カブ森／飼育小屋A屋根撤去とC解体・よもぎ団子作り	14
		8	森の観察会	8
		14	カブ森／樹木マップ・林内整備	16
		21	**カブ森保全計画ミーティング**	8
	5	12	うん・えー会／担当レンジャーが東さんから橘さんへ交代	11
		20	森の将来像作りワークショップ①	—
		26	カブ森／堆肥床作り・クヌギ生長調査・草刈目印つけ・蝶センサス・樹木マップ作り	19
	6	3	活動説明会／2名入会	13
		9	アカマツ林／実生調査・B地区シダ刈り	11
		10	森の将来像作りワークショップ②	—
		23	デジカメ講座（雨天）	13
	7	7	うん・えー会／**規約について検討**	11
		8	森の将来像作りワークショップ③	—
		14	カブ森／支柱抜き・蝶センサス・C地区枝打ち	12
		28,29	草刈キャンプ／ワークショップ「森会のこれまでとこれから」課題をあげよう・夕食作り・夜の観察会・下草刈り	22
	8	4	カブ森／B・C地区下草刈り・蝶センサス	12
		12	森の観察会	5
		25	カブ森／B地区支柱抜き・C地区堆肥床作り	16
	9	1	うん・えー会／規約の原案承認	10
		8	カブ森／B地区堆肥床作り・支柱抜き	10
		9	森の将来像作りワークショップ④	—
		29	カブ森／樹木マップ作り・B地区堆肥床作り・支柱抜き	10
	10	7	ハイキング	8
		13	カブ森／樹木マップ作り・B地区堆肥床作り・支柱抜き	8
		14	森の将来像作りワークショップ⑤	—
		27	アカマツ林／下草刈り・コドラート修正	9
		30	造園学会九州支部大会／パネラーとして参加	1
	11	3	うん・えー会	9
		10	勉強会「森の調査の講義と実習」可能な調査（植物中心）とその実践　朝廣和夫先生講師	19
		17	カブ森／廃材片付け・案内板立て・樹木マップ作り	8
		23,24	山村塾合宿	21
	12	8	安全講習・大掃除　アカマツ林／実生調査	14
		16	昆虫の森作り作業と落ち葉焚き	13
	1	12	うん・えー会／臨時うん・えー会について	12
		19	新年会	—
		26	道具置場整備（雨天）	7

年度	月	日	活動内容	人数
2001	1	27	勉強会「アカマツ林の保全について」アカマツについてもっと知ろう　宮島寛先生講師	10
	2	9	年度末臨時うん・えー会（振り返りを十分反映させる為）	17
		17	カブ森デザイン作りミーティング／今後10年間の管理計画	13
	3	2	うん・えー会	15
		9	カブ森／産卵床A整備・幼虫調査・廃材処理	10
		10	ふくおか里山会議／事例紹介	1
		23	よもぎ団子作り	16
2002	4	7	春の観察会	9
		20	カブ森／伐採準備会（事前調査）	8
		29	カブ森／伐採準備会（事前調査）　アカマツ林／TV取材	10
	5	11	うん・えー会	10
		25	安全講習会　カブ森／クヌギ生長調査	23
	6	8	カブ森／A・C地区ルート草刈・A地区地図作り・蝶センサス	11
		9	アカマツ林／B地区シダ刈り	5
		15	カブ森／B・C地区ルート草刈・B地区の崩れた手すり撤去	10
		22	カブ森／A地区ルート草刈・B地区の崩れた手すり撤去・A地区クヌギ地図作り・蝶センサス	11
		23	アカマツ林／話合い・A地区シダ刈り	10
	7	7	活動説明会／6名入会	13
		13	うん・えー会	10
		20	カブ森／A地区常緑樹除伐	13
		27	勉強会「森の管理作業と草本の関係について考えてみよう①」目標とする草本相　須田隆一氏講師	8
	8	3,4	お泊まり観察会／夜と朝のカブ森	18
	9	14	うん・えー会	12
		28	カブ森／C地区間伐木選定・C地区コドラート・クヌギ・コナラ調査	9
	10	12	カブ森／森の観察・林床植生調査	10
		24	福岡市・花と緑の町作り地域活動功労者表彰を受賞	1
		26	城南区役所主催「城南区わがまちウォッチング」油山案内	2
		26,27	山村塾合宿	26
	11	2	うん・えー会	7
		9	カブ森／A地区間伐・木工教室の竹を搬入	9
		13	自然観察の森運営協議会に参加	1
		16	カブ森／A・C地区間伐作業・A地区クヌギ生長調査	9
		30	木工教室	24
	12	14	カブ森／A地区クヌギ地図作り	3
	1	11	うん・えー会	11
		12	新年会	—
		18	救急講座／竹下裕一氏　講師	—
		25	カブ森／A地区堆肥床作り	13
		26	森づくりのための救急講座　竹下裕一氏講師	—
	2	8	年度末臨時うん・えー会	13
		22	森の観察会・焚き火	11
	3	1	大掃除・樹木板作り（雨天）	12
		9	うん・えー会／活動日数を基本的に月2回とする	14
		22	カブ森／C地区ピラカンサと枝落とし・椎茸菌打ち・樹名板つけ	19
2003	4	12	カブ森／C地区間伐・堆肥床整備　**03年保全計画ミーティング**	20
		20	森のハイキング・会員の名札作り	5
		26	勉強会「森の管理作業と草本の関係について考えてみよう②」須田隆一氏講師	26
	5	11	うん・えー会／里山作業リーダー養成企画について	12

森を育る会活動年表

年度	月	日	活動内容（「┆」は会以外の主催）	人数
2003	5	24	カブ森／クヌギ生長調査・コードラートの植生調査・ルート草刈り・蝶センサス・椎茸ホダ木天地替え・材の玉切り	19
		31	「活動中」のぼり作り・テプラ作業・カマの手入れ（雨天）	13
	6	15	アカマツ林／A地区シダ刈り・除伐予定木の印付け	14
		18	自然観察の森運営協議会に参加	1
		21	アカマツ林／除伐・土留め設置・持帰り材の加工	16
		28	救急講座／竹下裕一氏 講師	10
	7	5	うん・えー会／森会ハンドブック発行	9
		12	救急講座／竹下裕一氏 講師	6
	8	2	カブ森／ルート草刈りと枝落し・蝶センサス・椎茸ホダ木天地替え	13
		9,10	ナイトハイキング・夜の観察会	6+
		24	森づくり活動グループリーダー講座で事例発表	1
	9	4	うん・えー会／ホームページ公開	11
		14	カブ森／A・C地区間伐・土留め作り・蝶センサス	14
		21	アカマツ林／「里山体験リレー」オリエンテーション・A地区間伐と落ち葉かき・TV取材	14
		22	NHKの番組中に、ゲスト出演「里山リレー」について	1
	10	—	東レンジャーが転勤され、掛下レンジャーが担当に	—
		12	勉強会「森の管理と草本の関係について」須田隆一氏講師	17
		19	活動説明会	10
		25,26	山村塾合宿	11
	11	9	うん・えー会／都市緑化フェアについて	10
		15	カブ森／堆肥床整備・クヌギ生長調査（雨天）	16
		30	木工教室	16
	12	13	冬支度の森の観察	10
	1	10	うん・えー会／カブトムシ飼育小屋の現状報告（Aは管理事務所の飼育展示に任せる）	10
		18	カブ森／落ち葉かき・A地区草刈り・焚き火	7
	2	15	年度末臨時うん・えー会	11
	3	7	活動説明会／6名が入会	11
		13	うん・えー会	14
		—	カブ森のクヌギが誤って切り倒されたとセンターから報告	—
		23	西日本新聞で「スローライフ」のコーナーにて活動紹介	—
		27	カブ森／カイヅカイブキ伐採・A地区土留め作業・転倒したタブの撤去・C地区堆肥床の補修	17
2004	4	10	カブ森／A地区間伐と土留め作業	21
		18	RKBラジオで、電話取材	1
		24	勉強会「森を歩く森を知る」油山らしさ・二次林とは何か？須田隆一氏講師	20
	5	15	うん・えー会／クヌギが切られた事に対して、カブ森管理目の共通認識を他の管理者に今後提案	9
		22	カブ森／A・C地区下草刈り・A地区堆肥床整備	19
	6	3	自然観察の森運営協議会に参加	1
		5	活動説明会	17
		26	アカマツ林／「緑のボランティア受講生」と散策及び作業実績解説・名札作り・材玉切り（雨天）	7
	7	3	救急講座／竹下裕一氏 講師	17
		10	うん・えー会	11
		23,30	県主催「協働推進ワークショップ」出席要請あり参加	3
	8	6	市長と油山ボランティア懇談会	5
		7	カブ森／ルート枝落し・B・C地	13
	9	4	活動説明会／2名が入会	17
		11	うん・えー会／午後臨時作業／カブ森A地区の台風で倒れたクヌギの撤去作業	12
	—	—	アカマツ林／看板設置	3
	10	1-3	都市緑化月間イペントで展示参加	—
		9	アカマツ林／A地区落ち葉かき・地かき・土留め作り・材の玉切り	15
		30,31	山村塾合宿	15
	11	13	うん・えー会／全林協の救急講座テキストで活動が紹介された／午後から作業／カブ森の樹木板のワイヤー付け替え・作業の為の下見	13
	12	4	活動説明会／1名が入会	11
		18	カブ森／A・B地区間伐／緊急時の対応訓練	18
	1	8	うん・えー会／カブ森の地図作り提案	14
		22	カブ森／落ち葉かき・クヌギ生長調査・間伐・焚き火	22
	2	6	新年会	21
		11	年度末臨時うん・えー会	16
		26	シイタケこま打ち／体験参加者あり2名入会（雨天）／保全外企画ミーティング	13
	3	12	うん・えー会	10
		19	勤労者マルチライフ支援事業ボランティア体験プログラム「カブ森間伐作業・シイタケ採り」	15
2005	4	9	ハイキング／体験参加者あり2名入会／カブ森／B地区幼虫調査	14
		23	**短・中期保全ミーティング**	10
	5	14	うん・えー会／活動日外活動ルールに関する提案	10
		28	カブ森／A地区樹木調査（平面図作り）	11
	6	4,5	山村塾合宿	9
		11	活動説明会／2名が入会	14
		26	カブ森／**甲虫調査開始**	6
	7	9	うん・えー会／カブ森間伐計画	11
		24	カブ森／枝落とし・甲虫調査・草刈	25
	8	6	カブ森／草刈り・甲虫調査	11
		27	木工教室	23
	9	10	カブ森／草刈（雨天のため中止）	10
		17	アカマツ林／草刈・歩道整備	10
	10	8	植物観察会・アカマツ林整備	19
		30	カブ森／間伐	16
	11	12	うん・えー会＆アカマツ林作業（常緑樹伐採）	10
		23	「甲虫勉強会」講師・紙谷聡志氏	19
	12	10	カブ森／樹木調査・間伐材処理	17
		17	「安全講習会」講師・小森耕太氏	10
	1	8	うん・えー会＆「油山の里山植生勉強会」講師・須田隆一氏	14
		18	平日作業／カブ森 カイズカイブキ伐採	10
		28	カブ森／クヌギ生長調査・樹木調査・焚き火／タウン誌リビング福岡の取材	13
	2	11	活動説明会／カブ森（間伐・シイタケコマ打ち・焚き火）	24
		11	ワンモアライフ勤労者ボランティア賞授賞式／於東京（迫さん）	1
	3	11	うん・えー会／年間計画作成	12
		18	雨天時プログラム／「油山の木はお友達」ボランティアルーム清掃	18
2006	4	1	春の油山ハイキング	14
		12	平日作業／カイヅカイブキ伐採・整理棚制作	9
		22	福岡ハートネット21「環境ボランティア研修」受け入れ	15
	5	27	雨の日プログラム（小枝を使った動物）・カブ森／林内整備	8
	6	10	活動説明会／アカマツ実生保護	14
		14	平日作業／アカマツ林ヤード造り	6
		18	「アカマツ林勉強会」講師・久米篤氏	26
	7	8	うん・えー会＆アカマツ林／草刈	14
		23	木工教室（雨天プログラム）／勤労者マルチライフ支援事業を受入	19
	8	6	カブ森／草刈・枝落し・甲虫調査	17
		27	夏休み木工教室	17
	9	9	うん・えー会＆アカマツ林／落ち葉かき・枯枝整理	13
		20	平日作業／アカマツ林（台風後の整備）	5
		23	カブ森保全目標づくり	16
	10	11	平日作業／カブ森整備	4
		15	「安全講習会」リスク管理・道具の使い方・ロープワーク 講師・森会会員（竹下・石橋・迫）	16
		29	活動地（竹林）新設検討会	10
	11	11	うん・えー会（午後作業は雨天中止）	14
		22	平日作業／アカマツ林落ち葉かき	2
		25	カブ森／間伐・堆肥床整備	12
	12	9・10	山村塾合宿／杉の間伐・畑作業	8
		13	平日作業／アカマツ林枯れ枝整備	3
		23	カブ森／草刈・樹木調査・焚き火	21
	1	8	うん・えー会・カブ森作業計画	14
		18	平日作業／アカマツ林・観察用樹木の選木	8
		27	カブ森／落葉かき・焚き火・「ツシマヤマネコ応援団」受け入れ	14
		27	新年会意	-
	2	18	ハイキング／「雨の日もまた楽しい野外活動」＆ブログ勉強会＆アカマツ林看板計画	14・17
	3	3	うん・えー会／年度計画	13
		10	活動説明会／カブ森・間伐	